

上溝高校図書館報

# SUCCESS



2024 年度 上溝高校図書委員会

## 目次

目次、上溝高校図書館基本情報 .....	1
図書館 MAP .....	2
2024 年度図書委員のおすすめ本リスト .....	3-4
図書委員が作成した POP .....	4~7
図書委員が注目した2024年のニュース .....	8-11
図書委員会のイベント .....	12
上高マンガ選挙 .....	12-13
上小交流会 .....	14
読書会 .....	15-18
上高図書館マンガ一覧、蔵書検索 QR コード .....	19

### 表紙：大学合格就活成功 画

#### <上溝高校図書館 基本情報>

2万冊以上の本をはじめとする、充実した資料をそろえています。授業・自習・読書だけでなく、さまざまな場面で活用されています。

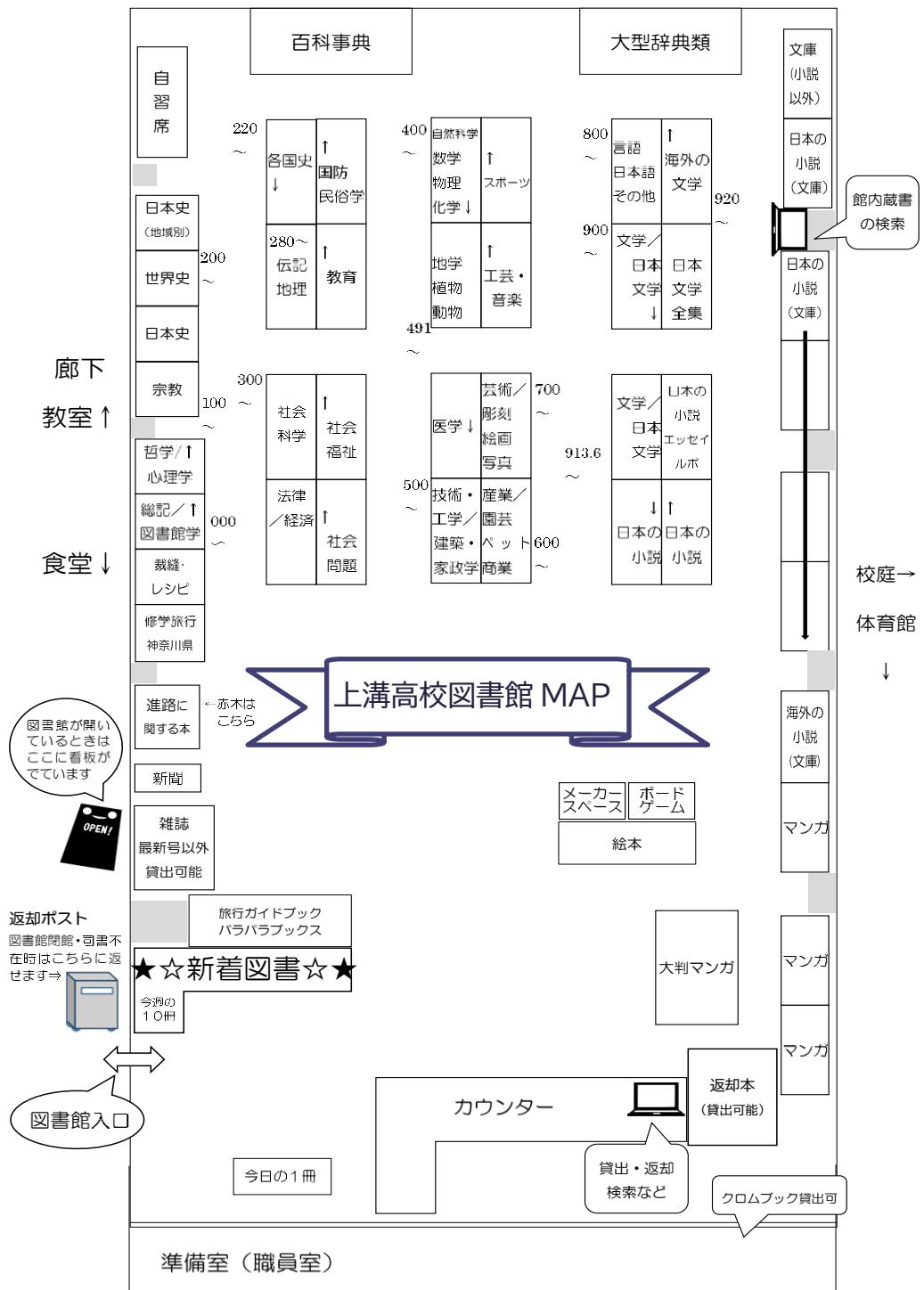
県立高校や県立図書館と連携しており、他館から資料を借りることもできます。

- 図書 : 21,128 冊 (2024年 4月 1日)
- 雑誌 : 11誌 ※1年間保存
- 新聞 : 5紙 ※3か月保存
- データベース : 朝日けんさくくん(朝日新聞の記事検索が可能)

貸出期間 : 2週間 貸出冊数 : マンガは 5 冊まで その他は冊数制限なし

Chromebook やプロジェクトを整備しており、図書館の蔵書とインターネット情報を組み合わせた調べ物ができます。

また館内の蔵書検索用パソコンだけでなく、各自のスマホ等からも蔵書検索ができます。(生徒・職員のみ)



## 2024年度図書委員のおすすめ本リスト

(2024年4月～12月)

図書委員会では毎月、担当の学年がおすすめの本について  
POPを作成し、カウンターに飾っています。

小説以外の本		
書名	著者名	出版社
ちいかわ心理テスト	ナガノ、阿雅佐	講談社
二つの風の谷－アイヌコタンでの日々－	本田優子	筑摩書房
366 日絵のなかの部屋をめぐる旅	海野弘	パイインターナショナル
知識ゼロでも楽しく読める！源氏物語	竹内正彦	西東社
バムとケロのおかいもの（絵本）	島田ゆか	文溪堂
よるにおばけと（絵本）	みはなむ	ミシマ社
ぼくはいったいどこにいるんだ（絵本）	ヨシタケシンスケ	ブロンズ新社
日本の小説（著者名順）		
書名	著者名	出版社
文豪ストレイドッグス 太宰を拾った日	朝霧カフカ	KADOKAWA
六人の嘘つきな大学生	浅倉秋成	KADOKAWA
死神の精度	伊坂幸太郎	文藝春秋
変な家	雨穴	飛鳥新社
大恋愛～僕を忘れる君と	大石静	扶桑社
同じクラスに何かの主人公がいる	昆布山葵	KADOKAWA
君は月夜に光り輝く	佐野徹夜	KADOKAWA
時々ボソッとロシア語で喋れる隣のアーリヤさん	燐々SUN	KADOKAWA
あの花が咲く丘で君とまた出会えたら	汐見夏衛	スターツ出版
穢れた聖地巡礼について	背筋	KADOKAWA
走れメロス	太宰治	偕成社
流浪の月	凪良ゆう	東京創元社
ぼくは明日、昨日のきみとデートする	七月隆文	宝島社
大正浪漫 YOASOBI『大正浪漫』原作小説	NATSUMI	双葉社
モルグ街の美少年	西尾維新	講談社
美少年探偵団－きみだけに光かがやく暗黒星－	西尾維新	講談社

日本的小説(著者名順)		
書名	著者名	出版社名
ブラック・ドッグ	葉真中顕	講談社
謎解きはディナーのあとで	東川篤哉	小学館
三日間の幸福	三秋縋	KADOKAWA
今日も絵に描いた餅が美味しい1	もちもち物質	TO ブックス
ピエロがいる街	横関大	講談社

海外の小説(著者名順)		
書名	著者名	出版社
異邦人	アルベルト・カミュ	新潮社
星の王子さま	アントワーヌ・ド・サン=テグジュペリ	新潮社
すばらしい新世界	オルダス・ハクスリー	光文社
いつか晴れた日にー分別と多感ー	ジェイン・オースティン	キネマ旬報社
アルジャーノンに花束を	ダニエル・キイス	早川書房
変身	フランツ・カフカ	新潮社
三体	劉 慈欣	早川書房



『二つの風の谷  
—アイヌコタンでの日々—』

本田優子(著)  
筑摩書房

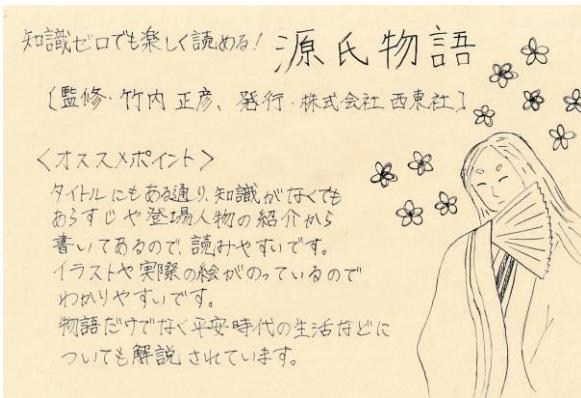
『ちいかわ心理テスト』  
ナガノ、阿雅佐(著)  
講談社

二つの風の谷—アイヌコタンでの日々

著: 本田優子

出版: 筑摩書房

僕はこの「二つの風の谷」という北海道のアイヌ民族を題材とした本を上高生のみなさんにおすすめしたいと思います。理由としては近年の上高の修学旅行先が北海道であるからです。この本の内容は著者が実際に北海道の二風谷という所で体験してきた事を元にしているのでインターネットとは違う感覚で事前学習に使える(実際に行ってきた後に気になったことがあって調べものもした)ときに活用できると思います。



＜オススメ×ポイント＞

タイトルにもある通り、知識がなくても  
あらすじや登場人物の紹介から  
書いてあるので、読みやすいです。  
イラストや実際の絵がのっているので  
わかりやすいです。  
物語だけではなく平安時代の生活などに  
ついても解説されています。

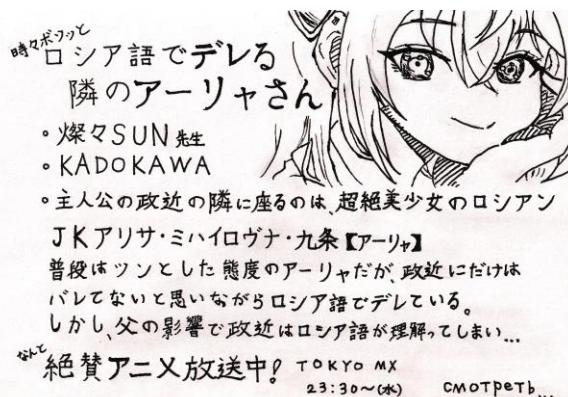
『知識ゼロでも楽しく読める！  
源氏物語』

竹内正彦(著)  
西東社

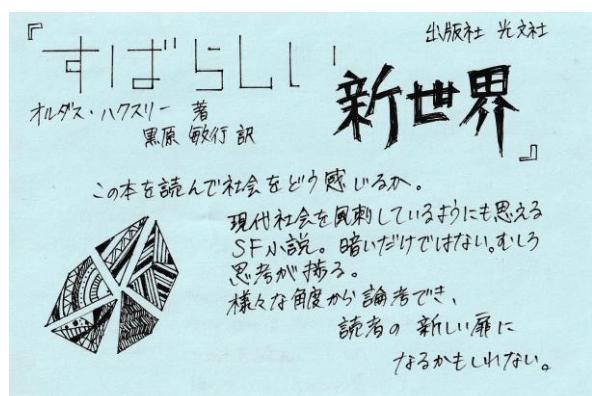
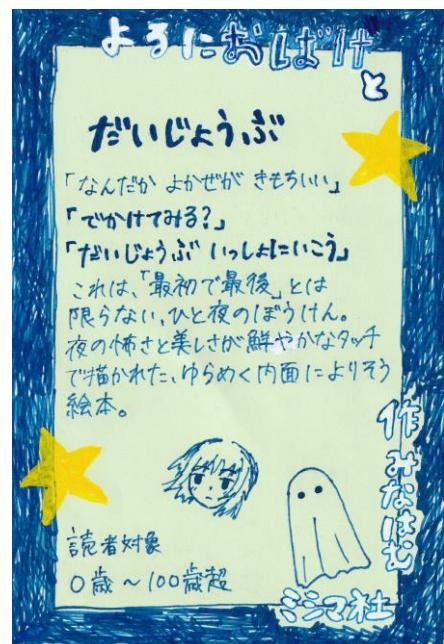
『よるにおばけと』  
みはなむ(著)  
ミシマ社

『時々ボソッとロシア語で喋れる  
隣のアーリヤさん』

燐々SUN(著)  
KADOKAWA



『すばらしい新世界』  
オルダス・ハクスリー(著)  
光文社

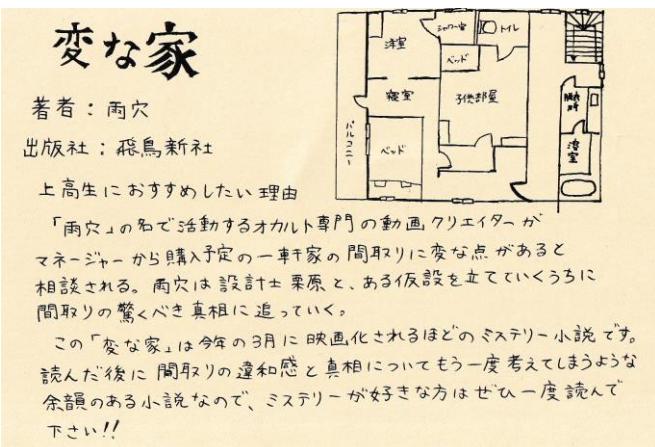


## 相模原市立図書館にて上高図書委員のPOPが展示されました！！

展示期間：2024年11月1日(金)～11月30日(土)

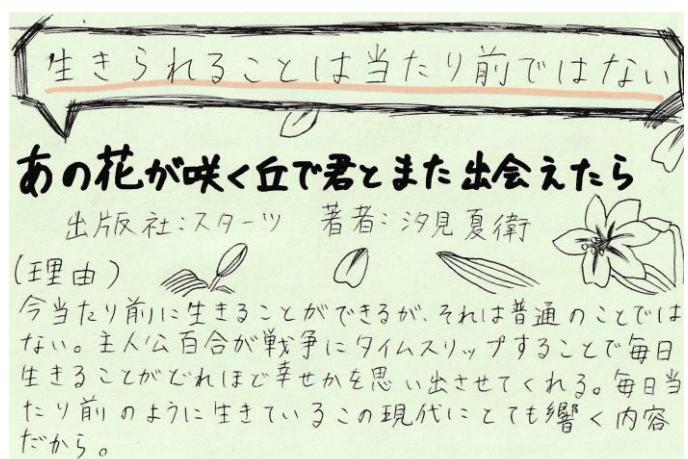
展示場所：相模原市立図書館2階 中央階段前ガラスケース

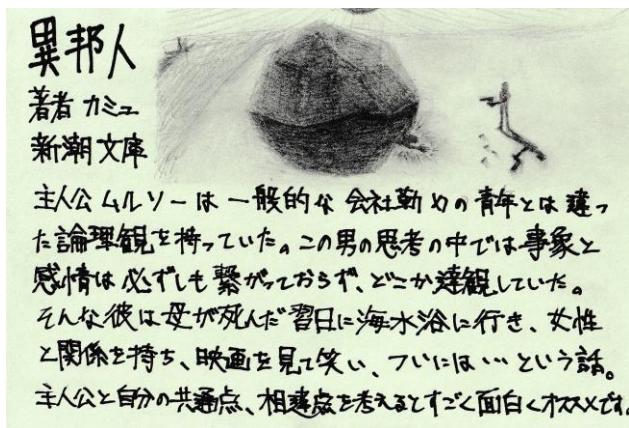
以下、展示されたPOPです☆



『変な家』  
雨穴(著)  
飛鳥新社

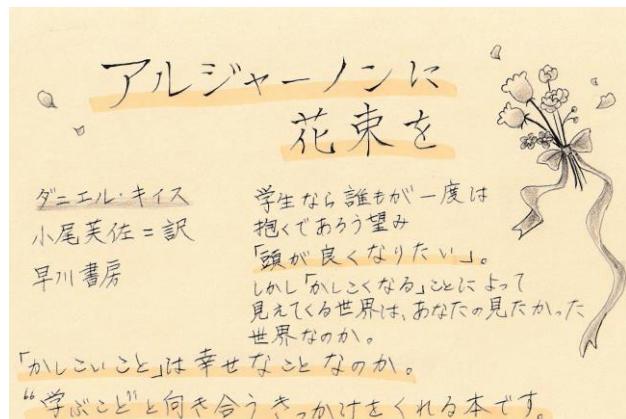
『あの花が咲く丘で  
君とまた出会えたら』  
汐見夏衛(著)  
スターツ出版





『異邦人』  
アルベール・カミュ(著)  
新潮社

『アルジヤーノンに花束を』  
ダニエル・キイス著  
早川書房



相模原市立図書館にて展示の様子



# 図書委員が注目した 2024年のニュース

図書館廊下にて、図書委員新聞係が最近注目した新聞記事を紹介しています。  
ぜひ立ち止まって読んでみてください！

見出し/記事名	紙名	発行日
愛媛、高知で震度6弱	神奈川新聞	4月19日
18歳 人を、裁く	読売中高生新聞	4月19日
米、軍事支援再開へ	神奈川新聞	4月21日
「本」捨てるの待って！私も読みたいな	朝日新聞(朝刊)	4月24日
尚弥の前でヤンキーズ KO	スポーツニッポン新聞	6月 9日
Finding purpose and success in Uganda	The Japan Times Alpha	6月21日
新紙幣もうすぐ	読売中高生新聞	6月28日
トランプ氏暗殺未遂	神奈川新聞	7月15日
SNS 偽・誤情報対策制度化へ	朝日新聞(朝刊)	7月17日
30球団最高勝率決めた大谷	日刊スポーツ新聞	9月30日
大解剖 石破新首相	読売中高生新聞	10月 4日
知らぬ間に犯罪加担	神奈川新聞	11月 5日
年収 103 万円の壁 引き上げ検討	読売中高生新聞	11月15日
トランプ・アゲイン	読売中高生新聞	11月15日

図書館にある新聞から気になる記事を見つけて紹介しよう！

見出し/記事名	米、軍事支援再開へ 下院、94兆円予算案可決		
紙名	神奈川	新聞	
日付/出版年	2024	年	4月21日
朝夕刊・版	(朝)	・	夕刊版
面/ページ	3		

<記事の要約>

米下院が20日、ロシアの侵攻を受けたウクライナを支援する約608億ドル（約9兆4千億円）の緊急予算案を超党派で可決。緊急予算は昨年10月にバイデン氏が議会に求めたが、一部の共和党保守強硬派が国境警備強化を優先させさせざるを得ないとして同党のジョンソン下院議長に従わず、審議が迷走していた。定数435の下院で採決結果は賛成311、反対112の賛成多数で可決。

<感想・調べたこと>

私は数ヶ月間ずっと膠着状態だった。予算案がなぜこうも(きなり)進展を見せたのか気になり調べてみました。調べた結果、可決の要因の1つとみられてるのがウクライナ支援の方法のようです。支援の一部は返済義務がある借款、つまり融資の形をとったようです。これはトランプ前大統領が主張していたものでバイデン政権は否定的でした。しかし一部の反対者の要求を満たすために、無償ではなく、返済免除付きの融資という形で提案をしたようです。少しでも早く戦争が終わるように。

図書館にある新聞から気になる記事を見つけて紹介しよう！

見出し/記事名	18歳 人々を裁く		
紙名	読売中高生	新聞	
日付/出版年	2024	年	4月 19日
朝夕刊・版	朝・夕刊版		
面/ページ	1~3 ページ		

<記事の要約>

市民が裁判に参加する「裁判員制度」について。昨年からは18歳以上が裁判員の対象となり、実際に選ばれる事例も少しずつ増えている。選任の対象が18歳以上となったことで「法教育」の重要度は増している。しかし、裁判所や弁護士会など外部の専門機関と連携して法教育の授業を行った高校は少ない。

<感想・調べたこと>

そもそも裁判員制度とは、国民の中からランダムに抽選で選ばれた裁判員6人が刑事裁判の審理にあたること。この制度の大きな狙いは、市民の感覚を裁判に反映させること。

この制度を使うことで、裁判官や弁護士と市民の感覚のズレを修正してより公平な判決を検討できるのだと知った新しい制度だとと思った。自分には無関係だと思わす裁判員にける機会がきたら、その判決について真剣に考えようとするのが大切だと感じた。

図書館にある新聞から気になる記事を見つけて紹介しよう！

見出し/記事名	ウガンダで目的を見つけ成功する Finding purpose and success in Uganda.		
紙名	the japan times alpha	新聞	
日付/出版年	2024年	6月	21日
朝夕刊・版	朝	・	夕刊版
面/ページ	24	ページ	

<記事の要約>

カラフルで鮮やかな柄のアフリカンプリントを用いたアパレルブランド「RICCI EVERYDAY」の代表の仲本さんは、学生時代より海外に興味があったようだ。試行錯誤しながら様々な方向から海外へ支援を行い、今では自社ブランドに就職先に困っている女性達を中心に雇っているという。

<感想・調べたこと>

仲本さんのインタビュー記事を読んで、私は彼女の行動力や物事を選択する力に圧倒されました。彼女は一度なりたい職業と正反対の大手銀行グループに就職しましたが、大きな転機にこじかかり会社を辞めアフリカに渡りました。仲本さんが掴めるチャンスは全て掴んで挑んだ姿を見て、私はチャンスを見極めて思い切ってみることも大切だと感じました。

# 図書委員会のイベント

## 1. 上高図書館マンガ選挙



(宣伝用ポスター)

## ～上高図書館マンガ選挙とは～

上高図書館を利用している皆さんの投票によって  
上高図書館で購入するマンガを決める選挙です。

2024年度は6作品から

『葬送のフリーレン』 山田 鐘人(原著) 小学館

『チ。-地球の運動について-』 魚豊(著) 小学館

の2作品が上高図書館に入りました。

図書委員会広報係で候補作品を選び、投票期間中に放送を行いました。

### [総括] 上高図書館マンガ選挙が終わって

上校図書館マンガ選挙が開催されたということで、いい機会だと思い魚豊先生の「チ。-地球の運動について-」を読むことにした。この漫画は要約すると、これまで天動説が台頭していた15世紀のヨーロッパを舞台に、地動説の美しさに惹かれた人々がどうにかして世の中に証明しようと奔走する話だ。

この話はある種、政治的な問題などから発言が規制されがちな現代にも通ずるものがあり、自分でも共感できる部分が多くあった。

ある人は小難しそうな印象だけで敬遠してしまうかもしれないが、きっと読んだ誰もがこの漫画に引き込まれ、魅了されていくだろう。

といった具合に、選挙を通じて自分が今まで触れたことのなかった本に興味を持つことができたため自分にとっても有意義なものになったのかなと思った。

また、漫画を通して少しでも多くの人が”本を読むこと”の楽しさを知ることができたなら幸いである。

(2年 K.S)



## 2. 上溝小学校交流会

11月15日に、上溝小学校カルタ将棋クラブの皆さんと、上溝高校図書館に来てくれました。図書委員の2年生が、小学生の皆さんと上溝カルタや、上溝高校図書館が所蔵しているボードゲームを使って交流しました。

今回5個のチームに分かれて小学生とボードゲームで遊びました。私は小学生と一緒に「57577」というボードゲームで遊びました。小学生に一からゲームのルールを教えるのが思ったより難しく、最初の一回はうまく小学生に伝えられなくって、ワンゲームにかなり時間がかかってしまいました。二回目は、一回目よりなるべく分かりやすくなるようにゲーム中なるべく何度も説明するようにしました。思ったより小学生がワイワイ楽しく遊んでくれてとても嬉しかったです。他のチームでボードゲームをやっている小学生たちもワイワイ騒いでいてとても楽しそうでした。私達と一緒に遊んでくれた小学生も一緒にテーブルにいたみんなで喋りながら仲良く楽しそうに遊んでくれてすごく嬉しかったです。もちろん私達も小学生から笑顔をたくさんもらい、たくさん楽しみました。上小交流会に参加するのは初めてで緊張していたけど、たくさんの思い出ができて嬉しかったです。

(2年 K.H)

### 【上高図書館にあるボードゲーム】

上溝かるた トランプ リバーシ  
人生ゲーム 百人一首 Dixit  
UNO FLEX コインタイル  
ナンジャモンジャ  
はたらく細胞カードゲーム  
カタカナーシ ito キャプテン・リノ  
57577ゴーシチゴーシチシチ



## 読書会① 課題本『メンとモリ』(ヨシタケシンスケ著)

開催日:4月22日 放課後

参加者:3年生4名 教員3名 司書 計8名

3年生の授業が5時間で終わる日だったこともあり、お互いの感想についてじっくり考えながら話す読書会ができました。

### 図書委員Nさん

順番に話を回す形だった前回と違い、今回の読書会は誰かが出した意見に対して他の人が思ったことを伝える、ふんわりした会話のキャッチボールの様でした。より話しやすい雰囲気になっていたと思います。また、今回は先生方も話に参加して下さったということもあり、生徒同士ではなかなか至らないであろう内容にまで発展しました。あの場での先生は「教師」ではなく、1人の人間や親という立場で話をして下さり、こちらも聞いていてとても興味深かったです。

今回の本のテーマに「人生」「生き方」というものがあり、人生の岐路に立つ私たち3年生も自然と自分たちのことと重ねて読んでいたと思います。不安の尽きない時期ですが、今のこの年頃にしか感じられない想いをずっと大切に持ち続けられる大人になりたいと思いました。

もうすぐ成人になりますが、まだ子供でいられる今の時期にこの本に出会えてよかったです。

色々な生き方を肯定して寄り添ってくれる、素敵な本でした。

### 図書委員Sさん

初めて参加して緊張もあったがいろんな感想を共有して、自分には思いつかなかった考えを知って、様々な視点から作品を考察できたことが一人でする読書からは味わえない経験でとても楽しかったです。雪だるまのお話は自分と重ねて考えづらく解釈が難しかったが、メンバーの意見を聞くことで作品に対する見方が変わり、読んだ当初からより自分の考えを深めることができ、とても良い機会だったと思いました。この本を読んで、人生の生き方の考えが変わりました。読む前は生きるにはなにか目標を見出さないといけないと思い込んでいたが、読んだあとは生きることに目標はいらない、難しく考えずに気楽に生きればいいというメッセージを感じて、今受験とか将来のことについて不安を抱いていたがとても勇気をもらいました。今の私に強く響きました。読書会を通じてこの本に出会えて、自分以外の人と考えを共有して、より深められて本当に良かったと思いました。

### 図書委員 Tさん

「死」を何気ない日常の中で掘り下げている。人生の中で選択できないこともあるけれど、選択できることも多くあるのだから、こうある「べき」だと己の中の人生の選択を狭めず「こうありたい」という柔らかい表現が使われている。いずれ万物の至る「死」というものは、けして避けては通れず、かつ何時自分の身にふりかかるかわからない。根底に死という終着点を置きながらそこへ至るまでの道程を見つめなおせたように思う。

### 有志参加 Aさん

私は今回2回目の参加ということで、初回よりは緊張もほぐれた感じで読書会に挑むことが出来ました。今回皆さんと一緒に読んだ『メンとモリ』は、"人生って何だろう"という漠然としたことについて、色々な視点から考えていける絵本でした。何が正解とか、何が理想だよねっていうのは全然なくて、むしろ"みんな違ってみんないい"と改めて思える一冊だったと思います。でも、正解がないからこそその難しい部分もあったり、逆に言えば、自分で選択できる自由がある面白さや楽しさがあったりもして、ホントになんとも言えないなあというのを読んでいて感じました。

先生方も交えての今回の読書会は、年齢や立場が様々な人達が一冊の絵本について、それぞれ思ったことを交換しあう場となり、沢山の考え方を聞くことができた貴重な時間だったと思います。自分一人だけでは思いつくことがなかった見方がたくさんあり、驚きの連続で、とても面白かったです。『メンとモリ』に書かれている様々な生き方の中で、「そのうちなんとかなるさってのんびりやったっていい」というフレーズを私は特に気にいっています。色々なことに焦りながら計画性なく今までやってきた自分でも、何だかんだ言って今の高校3年生を過ごせているのは、そのうちなんとかなると前向きに考えた結果なのかなと思っています。そんな自分のやり方を、今回この絵本に肯定してもらえた気がしました。

また、「なんのために生きてるのかのこたえは、まいにちちがってもいい」というフレーズは、私にとってとても新鮮な考え方でした。私は今のところ、趣味の映画とドラマを楽しむ為に生きています(笑)

読書会では、人それぞれ考えていることが違って、同じお話について語り合ってるのは思えないくらいの解釈の違いがあったりして、とても興味深かったです。参加している人数分の人生がそれぞれには合って、それぞれ異なる生活を送っている人達が、今回読書会というところで一つになれた時間があったのは、とても凄いことだと、私は思いました。そんな時間に、自分も居れたんだと思うと、とても嬉しいです。

## 読書会② 課題本『あのときの王子くん』 (アントワーヌ・ド・サン=テグジュペリ著)

開催日:7月 23日 放課後

参加者:3年生3名 教員3名 司書 計7名

青空文庫版『あのときの王子くん』

([https://www.aozora.gr.jp/cards/001265/files/46817\\_24670.html](https://www.aozora.gr.jp/cards/001265/files/46817_24670.html))

### 図書委員 S さん

星の王子様シリーズは今まで読んだことがなく、読んでみてすごく心に響くセリフが多くて印象深かったです。少し前に出版されたにもかかわらず、現代社会にとても響く内容であり、今回の読書会でこの本に出会えて良かったと思いました。また現代に響く内容だからこそ今の人について大人とともに熱く語り、それぞれの意見を共有したり大人についてより深く考えることができて参加して良かったと思いました。

タイトルの『あのときの王子くん』を考察しました。”あのとき”という表現から王子くんに会ったことは過去の出来事だということを改めて感じさせ、王子くんと出会った過去があるからこそ今がある、王子くんに出会ったことを決して忘れてはいけないということを伝えたいのではないかと考えました。私もこれから受験が控えていて、本当にやりたいことや本心、自分を見失うことがあるかもしれないが、過去を忘れないように時々振り返って初心に帰るべきだということを思い知らされました。進路を決めるときも自分が最もやりたいことをじっくり考える時間を設け、自分のやりたいことを目指したきっかけを、過去を振り返りながら思い出していきたい、過去を大事にして生きていきたいと思います。また自分の意志を貫きたいと思いました。

このお話に出てくるような大人(結果、数字、実力、学歴重視、一般常識、固定観念を押し付けるなど)が今の世の中でもあるため結果だけでなく、途中経過、努力の過程、などあらゆる視点から応援することができる、そんな大人になりたいと強く思いました。

## 読書会③ 直観読み読書会

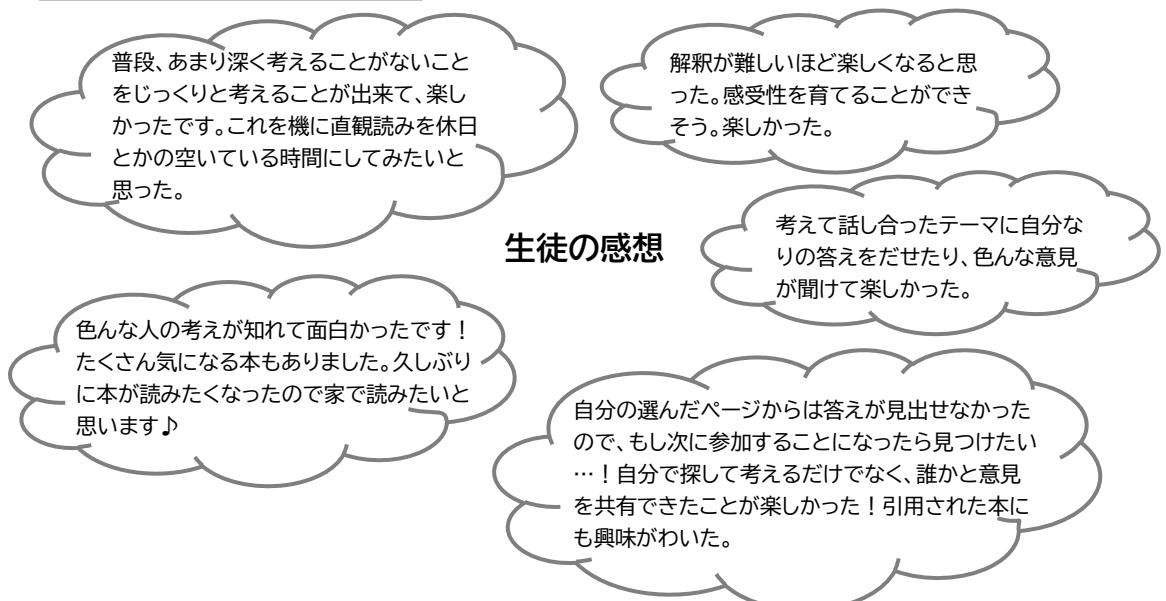
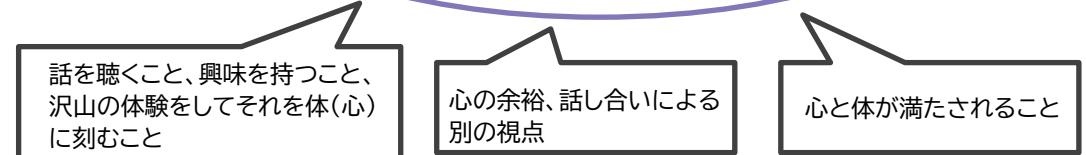
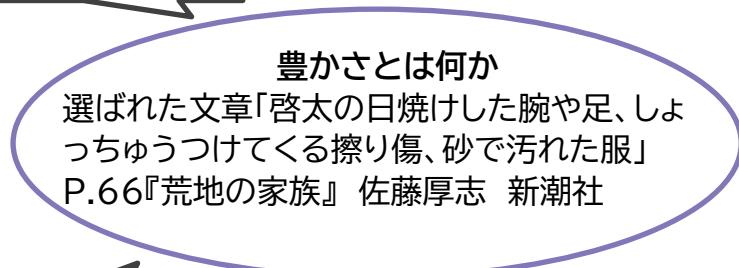
<直観読みとは:「偶然に身をまかせて文章を選ぶ」行為を意味する造語。>

開催日:11月12日 放課後

参加者:3年生2名 2年生1名 1年生2名 司書 計6名

参考:直観読みブックマーク (http://tyokkannyomibookmarker.info/)

参加者が決めた「豊かさとは何か?」「神とは何か?」という二つのテーマで直観読み読書会を行いました。



## 【上溝高校図書館 マンガ一覧】

下のQRコードを読み取ると、  
上溝高校図書館にあるマンガ一覧を見ることができます。

## 【上溝高校図書館 蔵書検索カーリル】

下のQRコードを読み取ると、  
上溝高校図書館 蔵書検索ページにいくことができます。